

## 学校プールの効率的利用に関する調査検討業務委託 公募型プロポーザル実施要領

- 1 件 名 学校プールの効率的利用に関する調査検討業務委託
- 2 事業目的 学校プールは、水泳授業を主な内容として、概ね6月から9月の限られた期間に活用されているが、その管理を担う教員の負担は大きく、また、多くの維持管理費用を要している。さらに、老朽化の進行により、今後、プールの更新等による対策も必要となるが、その費用負担は大きく、公共施設として費用に見合った施設の活用が求められるところである。
- このような課題は全国的なものであり、近年では他都市において民間プールや公営プールを利用した学校プールの再編事業等の取組も進められているが、本市においても、今後のプール更新等を見据えた取組を進める必要があることから、その手法について検討を進める必要が生じている。
- 本委託は、民間活力の活用も含めた柔軟な発想から今後の方針を検討していくため、高度な創造性や専門的な技術及び経験を有する業者からの技術提案を踏まえながら、学校プールの効率的な利用の実現に向けた手法及びその可能性について検討することを目的とするものである。
- 3 履行期限 契約締結日から令和3年3月24日まで
- 4 履行場所 川崎市川崎区宮本町6番地 ほか
- 5 業務内容 (1) 現状把握及び前提条件の整理
- ア 市立学校における既存プールの築年数及び設置方式、維持管理経費の整理
  - イ 解体を含めたプール更新費用の整理（屋内プール、屋外温水プール）
  - ウ 施設立地状況の整理（学校、民間プール、市所有プール等）
  - エ その他、検討に必要な情報の整理
- (2) 他都市の事例研究
- ア 民間活用によるプール整備・運営事例の収集・研究
  - イ ア以外の参考事例の収集・研究
  - ウ 各事例の課題整理等
- (3) 学校プールの効率的な利用に関する検討・分析
- 学校プールの効率的な利用の実現に向け、民間活用を含めたあらゆる手法を洗い出し、そのメリット・デメリットを分析する。

- (4) 民間事業者の意向把握
  - ア (3) の検討・分析に基づく事業参画の可能性の確認
  - イ 事業化を想定した場合の条件、要望等の整理
  
- (5) モデル地域の設定による検証
  - モデル地域を設定し、(3)、(4) を踏まえた学校プールの効率的利用の可能性を検証する。
  - ア 事業条件の設定
  - イ 事業費総額(LCC)の試算、VFMの算定
  - ウ 実現可能性の評価
  
- (6) モデル地域以外における学校プールの効率的利用の検証
  - ア 施設立地状況と児童生徒数・学級数を踏まえた集約化可能地域の仮設定
  - イ (5) の検証結果を踏まえたモデル地域以外における効率的利用の可能性の検証
  
- (7) 学校プールの効率的利用に向けた課題整理と今後の方針の検討
  - ア 移動手段、移動時間の検証
  - イ 学校運営上のメリット・デメリットの整理
  - ウ 事業費総額(LCC)の試算、VFMの算定  
(学校毎に更新した場合と効率化を実施した場合の費用比較)
  - エ プール解体後の災害時貯水機能の確保手段の検討
  - オ 学校プールの効率的利用の実現可能性と民間企業とのリスク分担の検討
  - カ その他課題整理及び方針検討
  
- (8) 会議資料作成等
  - 当該業務に伴い実施する会議への出席及び必要な資料、摘録を作成する。

- 6 参加資格
  - (1) 川崎市契約規則(昭和39年川崎市規則第28号)第2条の規定に基づく資格停止期間中でないこと。
  - (2) 川崎市競争入札参加資格者指名停止等要綱による指名停止期間中でないこと。
  - (3) 平成31・32年度業務委託有資格業者名簿の業種「調査・測定」、種目「その他調査測定」に登録されていること。

## 7 プロポーザル評価項目

本プロポーザルでは、事業者の選定にあたり、業務の実施体制、品質管理、情報セキュリティ対策のほか、課題に対する理解力や発想の柔軟性、提案の妥当性等について評価を行う。

- (1) 配置予定技術者の業務実績について
- (2) 業務の実施体制等
  - ア 業務実施体制の妥当性
  - イ 品質管理の妥当性
  - ウ 情報セキュリティ対策の妥当性
- (3) 学校プールにおける課題及び解決策について
  - ア 課題に対する理解力
  - イ 発想の柔軟性
  - ウ 提案の妥当性
- (4) 見積金額の適正性について

- 8 業務規模 本業務の業務規模は、8, 140千円（消費税及び地方消費税を含む）上限を予定